新型コロナウィルス情勢下における地域活動の状況について

関係者(団体)向け緊急アンケート調査の概要

調査概要

目 的: コロナ禍における地域活動の現状と今後の動向を探る

内 容 :地域活動の動き、どのような対策を行っているのかを聞く

調査期間:令和2年7月1日~7月31日

対象:コミねっと会員(391人)、情報通信員(15人)その他(5人)

H29~R1指定活動集団 (30団体)

H29~R1コミュニティ活動賞授賞団体(29団体)

▪ 対象 数:470件

回答数:300件(内無効20件)

- ・ 結果の概要
- ①新型コロナウィルスの影響について令和2年1月~6月の状況

活動頻度の変化

「活動を停止した」48%、「活動を縮小した(一部停止)」46%、「活動が増加した」0%、「変化なし」5%、地域活動94%が活動の対応に迫られた。

活動を停止した 人への問い	活動の停止時期 1月…0% 2月…8% 3月…54% 4月…34% 5月…3% 6月…1%	3月上旬 4月中旬	WHO新型コロナ確認 県内で患者発生 小中高の臨時休校始まる 緊急事態宣言発令 緊急事態宣言延長 東京アラート発令
			区センターの閉鎖等、市町所有の建物で活動し 亭止理由の半数近く、49%が「会場が使えない」
	「再開しない(1件	火頃(36件))」	」「未定(36件)」「その他(11件)」「冬頃(4件)」 らと報告してきた団体多数あり。

活動を縮小した人 への問い	縮小した活動とその理由
	多くの人を集めるイベントや室内活動(居場所)については中止にした 団体が多い。屋外での作業(美化・清掃)などは人数を調整しながら 比較的継続されている。
	定例会や、総会などは役員のみにしたり、書面決議で対応している。
	理由としては、「3密を避けるため」の回答が非常に多く、「会場が使えない」「コロナ感染防止のため」が続いた。
「活動を縮小した」 「変化なし」など、	活動を継続するにあたり、工夫されたことなど
活動を継続されている方への問い	回答のあった67件のうち、40件近くは「3密」「ソーシャルディスタンス」 「消毒」による自衛手段についての回答であった。

工夫したこと

- 手作り弁当の配食はやめ、弁当を外注し配食した。
- ・人が集まる講座ができない分、地域防災の内容の見直しや防災用品の見直し、防災地図の見直しをしている。
- 活動日の調整。
- 予定していた研修は延期とし状況を見ながら今年度の活動を維持する。
- 新たに研修会の定例会を強化し、活動の維持を会員に周知徹底を図っている。
- ・能動的活動の困難な部分をHPを立ち上げ通信発行、調査研修に集中。
- ・回覧回数を増やした。
- ・講座等定員の縮小。ウォーキング等目的地のコロナ発生地外への変更。
- ・6月から役員会の再開にあたり、区民会館のすべての窓に網戸を設置。全開しての開催。草刈りや防災機材の操作訓練は3密にならない人数での実施。
- 種まき等会員が集まる機会を減らした。個人的には活動の場を広げた。
- ・他での収入源を新たに開拓。
- 午前中に終われる内容にかえた。
- ・総会や会合は、文書での証人と連絡にした。席の感覚を2メートル取る。
- ・訪問業務を電話での安否確認に変更。
- ・集まることができないので、郵便でのお知らせをしたところ、よく目をとおしてくれ電話など連絡が密になった。
- 自己学習、自己練習、電話連絡を密に行う。
- 作業を実施する際に役員など限定しマスクの着用を実施。
- ・ファミリー版のリアル野球盤を考えた。
- 外で畑を借りて芋植えや芋堀を始めた。
- ・月1回の会報により活動状況を知らせたりこもりがちな生活に明るさをもたらす ニュースや工夫を提供し励ましあっている。

・ 結果の概要

②今後の活動について 令和2年7月以降について

今後の地域活動 への影響	影響があると「思う」79%、「思わない」4%、「変化なし」7%、「わからない」9%
「思う」と答えた方への問い	どのよう課題が深刻になると思いますかの問いに、半分の52%が「人が集められない(集まらない)」と回答。 また「打ち合わせができない」20%、「関係団地の協力が得られない」9%、
	「その他」19%となった。その他の回答に、「コミュニケーションを楽しみながら活動するには安心感が必要」「ふれあう接触無しに楽しい企画を立てるのは難しい」「行政の対応がはっきりしない」「地域活動の衰退が心配」との意見があった。

今後の団体の運営 に関する困りごと	「多いにある」「多少ある」あわせて76%が不安を抱えている。
	「活動内容にかかわる問題」45%、「運営体制にかかわる問題」20%「資金面にかかわる問題」21%が続いている。そのほか「ボランティアの人も感染を恐れて欠席する人が多い」「自粛生活が長引きヤル気の低下。関係団体にも「応援まで手が回らない」感じが強くなっている」「実施できる会場確保」などの意見があった。

新たな活動の取り組み	「すでに始めている」21%、「検討している」23%、「検討していない」41%、「わからない」12%、無回答3% 全体としては「検討していない」41%の回答が1番多い。 新たな取り組みとしては、ネットを活用したもの、行事の棚卸し、広報(情報発信)へ力を入れなおす取り組みや室内活動を野外に切り替えるなどがみられた。
	新たな取り組みを始めた時期、始める予定の時期(7月中の回答) 5月以前…18% 6月32% 7月26% 8月8% 9月5% 10月以降…11%

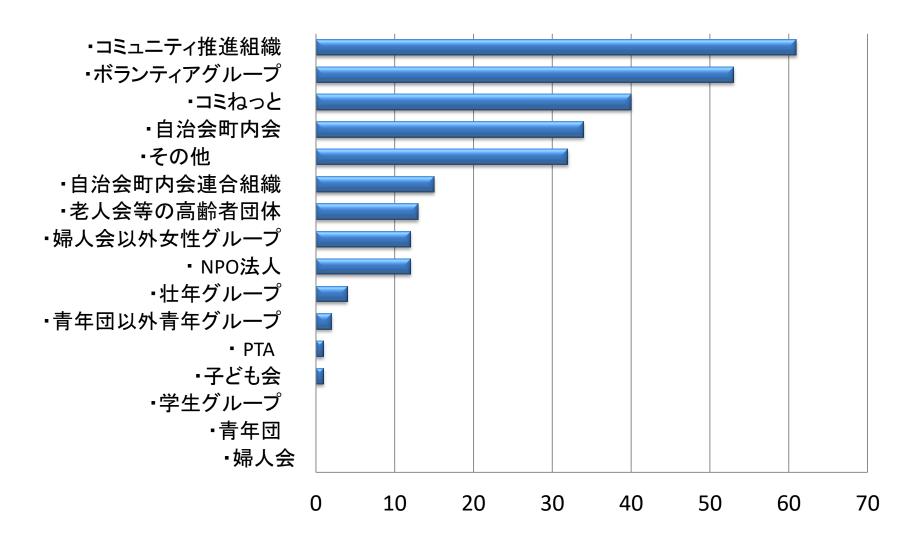
新しい取り組み内容

- •オンラインでのイベントなど
- ・zoomの使用
- ・来られない人のために、今の里山を紹介する動画を作りブログからyoutube配信している。小さな子向けのプログラムや観察会など、中止になったイベントの代わりに楽しんでもらう。
- ・生活苦にあえいでいる方に、フードドライブを行い、社協を通して配っている
- ・イベントの見直し、インターネット(リモート)活用
- ・屋内の活動をやめ、野外活動を短時間で開催。運営面でもリーダー間の連絡もオンラインに切り替えた。
- 今後の対応策について検討する意見募集
- ・ 行事の見直し
- ・研究会のHPの新規立ち上げと活動内容の明確化見えるかの資料作成
- ・地区、世帯にアンケートを全戸配布。現状までの活動の評価と今後の要望を問う。
- ・配布物で活動内容をPRする。体操ゲーム等広報していく。
- •手書き新聞
- ・役員によるお弁当作成し、全員に見守りをかねて訪問し困りごとを訪ねて回る(月1回)
- ・夏祭りや校区祭を中止した代わりに大岡地区ウォークラリー開催を企画中
- ・感染防止のチラシ作り
- ・昨年から在宅傾聴に力を入れることにしていた。
- ・調理室で調理して持ち帰ってもらう
- ・食事を伴わない野外でのゲームを楽しむ等
- •10月に無観客発表会の開催を予定している。なお介護施設からの要望があれば(古典芸能)その都度対応。
- ・ウイズコロナの時代に合ったコミュニティ活動テーマの募集をしようと思っている。
- ・歌声喫茶を野外でイベントとして開催。

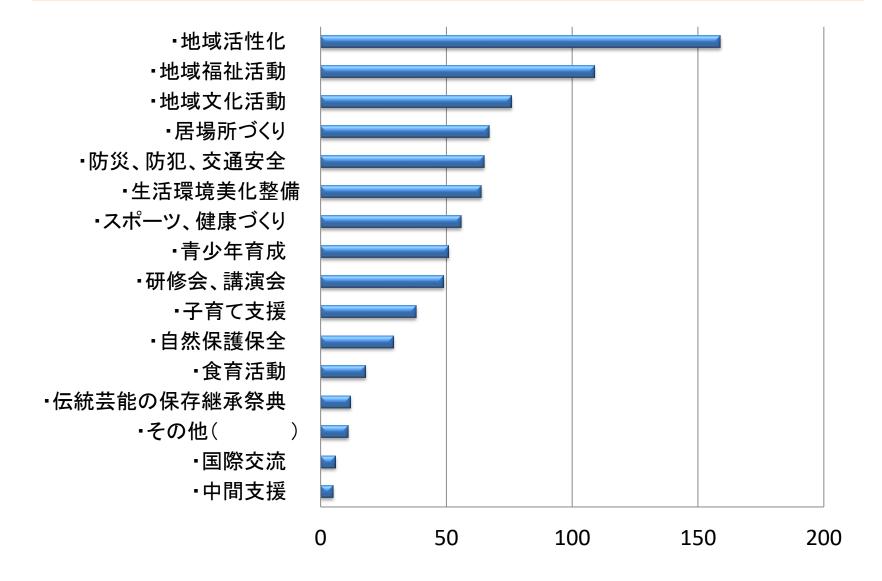
- ・ 結果の概要
- ③インターネットを利用した会議について

インターネットを利 用についての状況	「すでに活用」9%、「これから導入を検討」12%、「必要性を感じない」 36%には、「利用は困難である」31%、「無回答」12%
	「利用は困難である」と回答した人の理由としては、「高齢者である」が 圧倒的に多く、「インターネットの環境が整っていない」「やり方がわか らない」「会員の関心が薄い」などがあった。
	「顔を合わせて話し合うことが重要」というご意見も。
使用ツール	回答のあった26件のうち、ZOOM17件、LINE7件、Facebook1件、 Teams1件

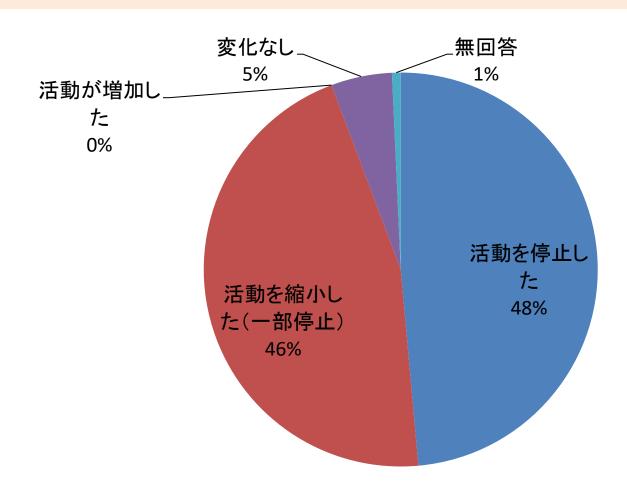
1.主な所属集団の種類(一つ選択)



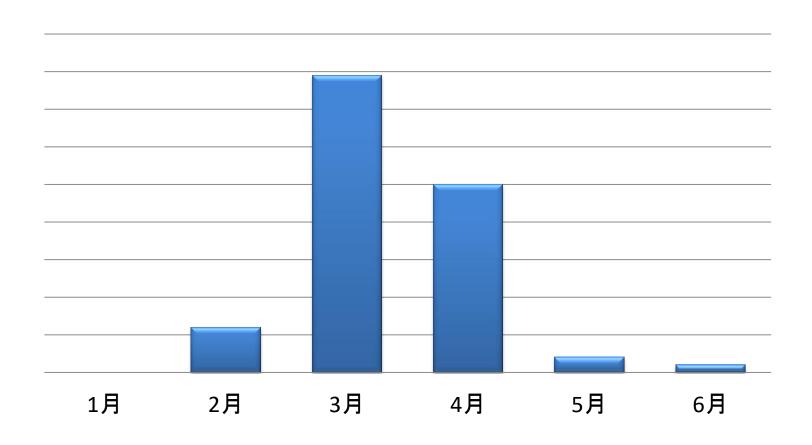
2.活動分野(複数可)



3.新型コロナの影響により活動頻度は変化しましたか。



3-(1)いつ頃から停止しましたか

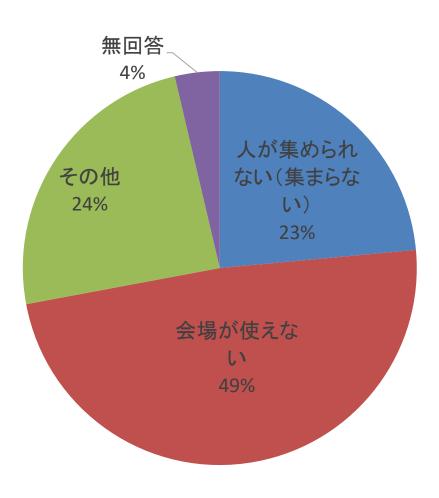


1月中旬 WHO新型コロナ確認 2月下旬 県内で患者発生

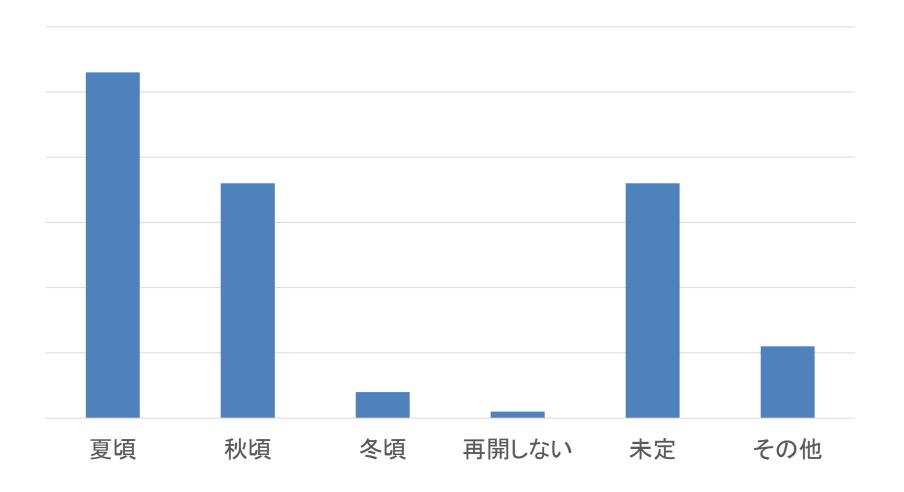
4月中旬 緊急事態宣言発令 5月初旬 緊急事態宣言延長

3月上旬 小中高の臨時休校始まる 6月 東京アラート発令

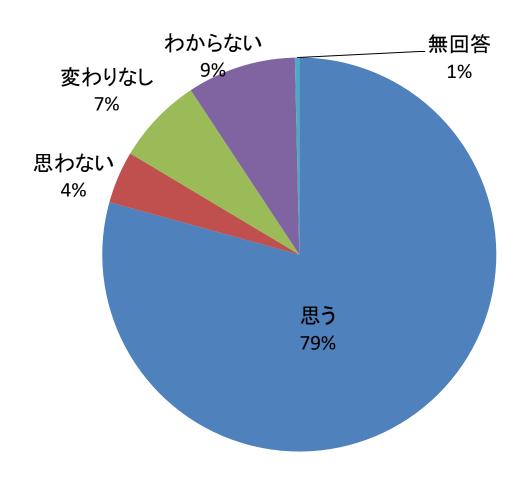
停止の理由は何ですか



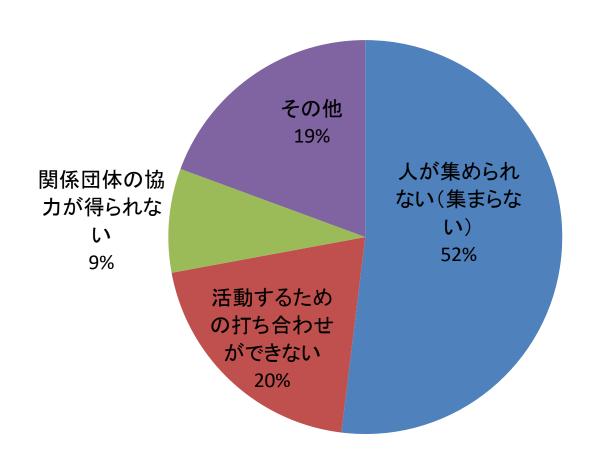
再開の目途はいつ頃を考えていますか?



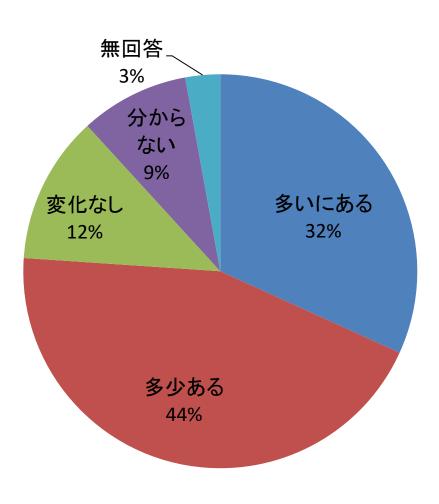
4.新型コロナによって、今後の地域活動自体に影響があると思いますか。



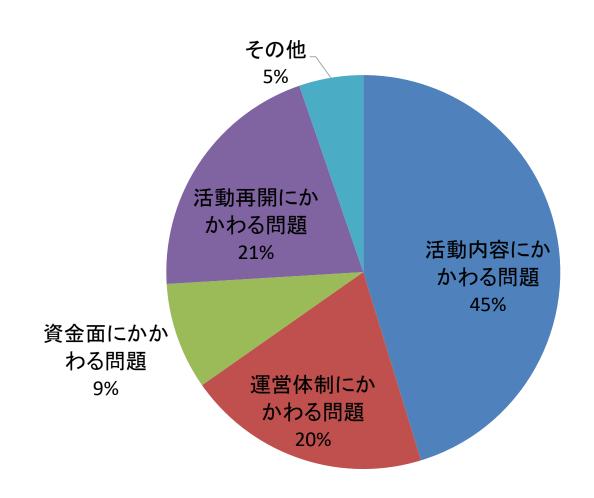
4-(1)地域活動を行う上で、どのような課題が深刻になると思いますか。



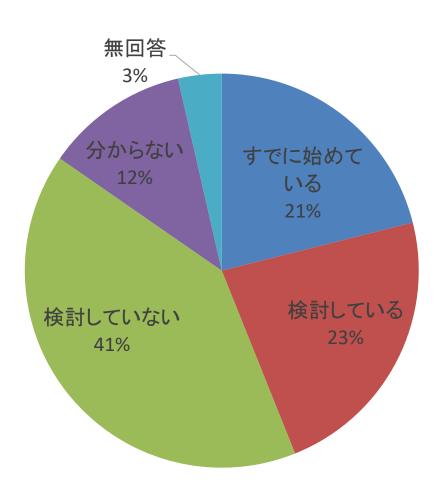
5.新型コロナの影響により今後の団体の運営に関する困りごとはありますか。



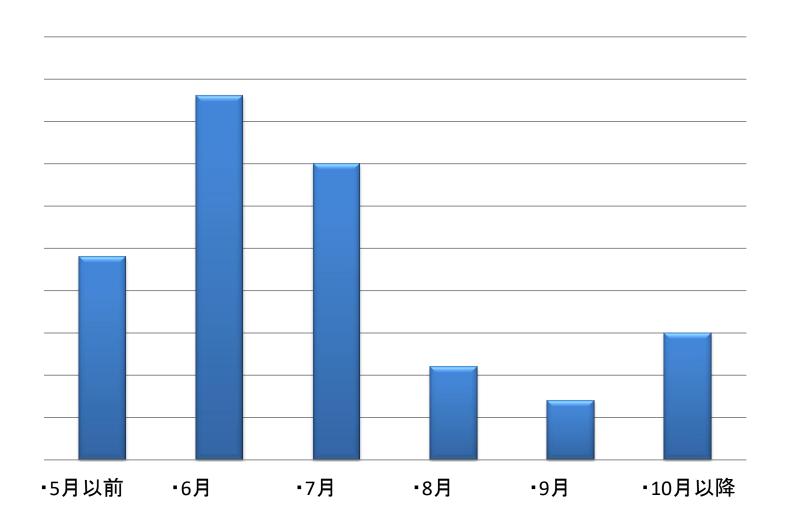
5-(1)「多いにある」「多少ある」と答えた方にお聞きします。



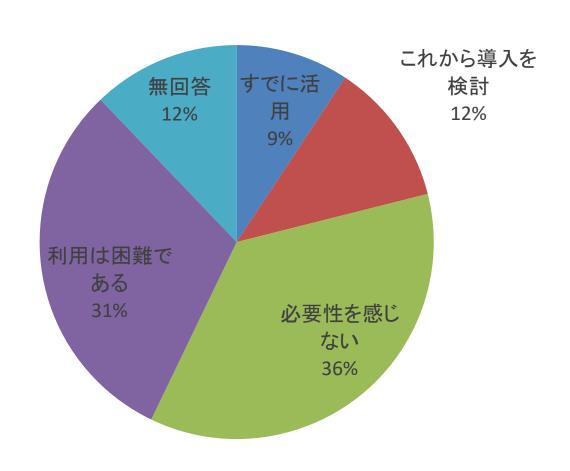
6.新型コロナを機会に所属団体で新たな活動の取り組みを始めている、また始めることを検討していますか。



6-(1)新しい活動をいつから始めましたか、始める予定ですか。



7.インターネット利用した会議についてお聞きします。



7-(1)「活用されている」方にお聞きします。使用ツールは何ですか

